

食育活動プロモーション事業を実施 ～西原町食生活改善推進員～

西原町食生活改善推進員が西原東中学校の生徒と保護者を対象に、12月14日に食育活動プロモーション事業を実施しました。

この事業は、望ましい食習慣を身につけるための食育活動推進を目的としたものです。事業には約30名が参加し、クリスマスや正月に向けたおもてなし料理をテーマに、調理実習を行いました。この日のレシピは、西原町の特産品でもあるからし菜などの食材を使い、健康づくりに欠かせない減塩のポイントが取り入れられました。参加者からは「習ったことは、家庭でも手軽に取り入れられるのではないかとと思う」「料理のトッピングが楽しかった」「子どもたちがとても楽しそうにしていた」などの感想が寄せられました。



新年を祝い、餅つきでにぎわう

新年を祝う恒例の「ふれあい餅つき大会」(西原町赤十字奉仕団主催)が、1月7日に町役場玄関前で開催されました。餅つきを前に城間富子委員長が「今年も健康第一に、奉仕団一丸となって活動がんばりましょう」とあいさつしました。「NPO法人さわふじ地域活動支援センターさん」の利用者も参加し、にぎやかに行われました。つきたてのお餅は、役場の来庁者などにふるまわれました。



母子寡婦会がクリスマス会を開催

西原町をはじめとした南部8市町村の母子家庭の世帯を対象にしたクリスマス会(南部地区母子寡婦福祉連絡協議会主催)が、12月15日に西原町中央公民館で開催されました。

このクリスマス会は、赤い羽根共同募金の配分金を活用して行われたもので、約200名の親子が参加しました。

手話ダンスやフォークダンス、ジャグリングなどの余興が披露され、参加者は楽しい時間を過ごしました。また、会の最後には会場にサンタクロースが登場。プレゼントを手渡され、子どもたちは大喜びのイベントになりました。



まちの話題

2014

550名のニシハランチュが
大人の仲間入り
～平成26年西原町成人式～

東部消防本部が出初式を開催

東部消防組合消防本部の「平成26年消防出初式」が、1月8日に同構内で開催されました。

同組合管理者の城間俊安南風原町長は式辞で「都市基盤整備に伴う人口増加、少子高齢化など社会構造が変化し、救急の出動件数は増加傾向。自然災害の危険性も懸念され、消防の役割はますます大きい」と述べ、「職務の重要性を再認識して消防人としての責務を全うしてほしい」と激励しました。

また、同組合消防団西原分団の呉屋和彦分団長が30年の永年勤続表彰されるなど、西原分団から3名の団員が表彰を受けました。

展示訓練では、捜索救助や救出活動が同時多発で発生したケースを想定した地震津波想定訓練や、一斉放水訓練が行われ、消防職員や団員が日ごろから鍛えた訓練の成果を披露しました。



車両から要救助者を救出する訓練



一斉放水訓練

選挙ポスター募集で玉那覇さんが優秀賞

平成25年度明るい選挙啓発ポスター募集((財)明るい選挙推進協会ほか)の表彰式が、12月20日に県庁1階県民ホールで開催されました。このポスター募集は、選挙が明るく正しく行われることを呼びかけるために行われており、西原町からは玉那覇優風さん(西原東中1年)が優秀賞を受賞しました。今回の募集では、応募者数1,733名中、24名が優秀賞を受賞。玉那覇さんはそのうち中学生で受賞した9名のうちの1人という、高評価を受けました。



優秀賞を受賞した玉那覇さんと「あなたの気持ちを一票に未来に」の作品

家族や恩師など多くの方が見守る中、「平成26年西原町成人式」が1月12日に西原町民体育館で開かれ、新成人の門出を祝福しました。西原町では新たに男性が303名、女性が247名の計550名(町在住者)が大人の仲間入りをしました。

上間明町長は式辞で「未知の世界にチャレンジするみなさんにエールを送るとともに、その未来に幸多きことを祈っています」と新成人を激励し、西原町青年協議会の屋嘉部景介会長が「もっと西原のことを知って、西原に誇りを持っていただきたい」と祝辞を述べました。また、新成人を代表して新里紹矢さんと中山愛理さんが力強い決意表明を行いました。



中山愛理さん

私たちが生まれてから20年、両親や先生方、地域の方々に支えられてこの場に立つことができる。これまで多くの困難を経験したが、これからも一つ一つ努力して目標を達成し続ければ夢は叶うと思う。試練を恐れず、支えてくれた人に感謝しながら自分の可能性を信じて未来を切り開いていきたい。



オープニングアトラクションを披露した創作獅子舞集団「凜」

小中学校生活を共に過ごした友人との再会の場でもある今日を、心待ちにしていた。しかし今日は、友人との再会を果たすだけでなく、私たちが社会的に大人として認められる日でもある。これまで私が過ごしていた日常は、周りの多くの方の支えによって成り立っており、あたり前のことではなかったと、成人を迎えて強く感じる。

社会の一員としての義務を負うことになり、今まで以上に責任ある行動が求められる。大人としての自覚を持ち、立派な社会人になれるよう常に努力し、社会に貢献していきたい。



新里紹矢さん



西原南小の卒業生がタイムカプセルを開封

今年成人を迎えた西原南小の14期生が1月11日に同小学校に集まり、卒業前に埋めたタイムカプセルの開封イベントを実施しました。

イベントには40名余りが参加。スコップを使って替わる替わる、8年前に埋めたポイントを掘り進めました。約1時間の作業で3つのタイムカプセルを掘り出すと、歓声と拍手があがりました。カプセルを開けると、袋詰めされたたくさんの思い出の品が詰められていました。中には学習ノートや通知表、当時の写真などの小学校生活の思い出の品、野球ボールやグローブ、ぬいぐるみやアイドルの写真などが入っており、昔の自分からの贈り物に笑顔があふれていました。

引き続き懇親会が催され、父母や当時の先生なども参加。懐かしい品を手にしたが、かつての学友たちと思い出話を花を咲かせました。



タイムカプセルを掘り出して笑顔の西原南小卒業生のみなさん